

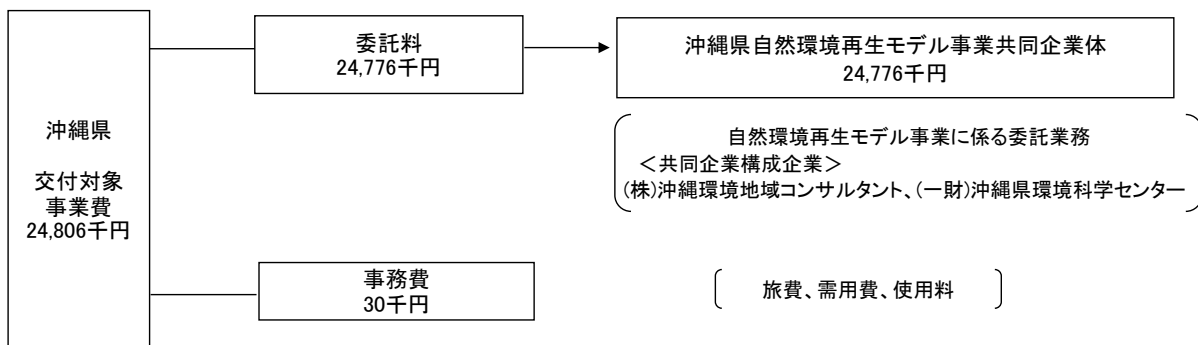
## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	39	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ウ		
担当部課名	環境部環境再生課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の再生 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	沖縄らしい自然環境を再生・維持していくため、東村慶佐次川において、自然環境再生モデル事業を行い、全県的に展開するためのノウハウや課題等を整理する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,363	—	16,467		
		(b) 予算現額	14,363	—	24,891		
		(c) 増減額(b-a)	0	—	8,424	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	8,424	
		A. 計(b+d)	14,363	—	24,891	8,424	0
	B. 執行済額		13,998	—	16,386	8,420	
	うち交付金充当額		11,198	—	13,109	6,736	
	C. 次年度繰越額		0	—	8,424	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.5%	—	65.8%	100.0%	
予算の状況の説明		執行率は100%であり、計画的に執行できた。 令和元年度に実施した繰越事業では、台風の影響による堆積物で閉鎖した小水路内を改善し、ヒルギ林内生態系の再生を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・生物調査	目標	—	—	実施する	—	
		実績	—	—	実施した	—	
達成状況説明	・生物調査を実施することで、自然環境再生モデル事業の効果の把握し、評価、検証するとともに、再生事業を進めるためのノウハウや課題等を整理した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)
	・再生箇所における事業実施前より河川水生生物の個体数	目標	—	—	約20%増加	—	—
		実績	—	—	約40%増加	—	—
	進捗状況説明	・台風の影響による堆積物で閉鎖した小水路内の改善で、河川水生生物(魚類及び底生動物)の個体数が事業実施前から約40%増加し、目標を達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・全県的に自然環境再生事業を推進するにあたって、当該事業を地域主導で実施する場合に実施体制や技術等に課題があるため、自然環境再生モデル事業を評価、検証して再生事業を進めるためのノウハウ集の作成等行う必要がある。</p>	<p>・自然環境再生事業の推進にあたり、地域主導で実施できる仕組みを整備し、関係者間で情報共有できるようネットワーク形成を図る必要がある。</p>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>・自然環境再生事業を全県的に推進するため、地域の再生取組に対して、技術面、財政面で支援を行うとともに、活動団体によるネットワーク形成を行い情報共有及び情報発信していく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
24,806	24,806	22,325	2,481	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は公募型プロポーザル方式により、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、実績精算時に関係書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

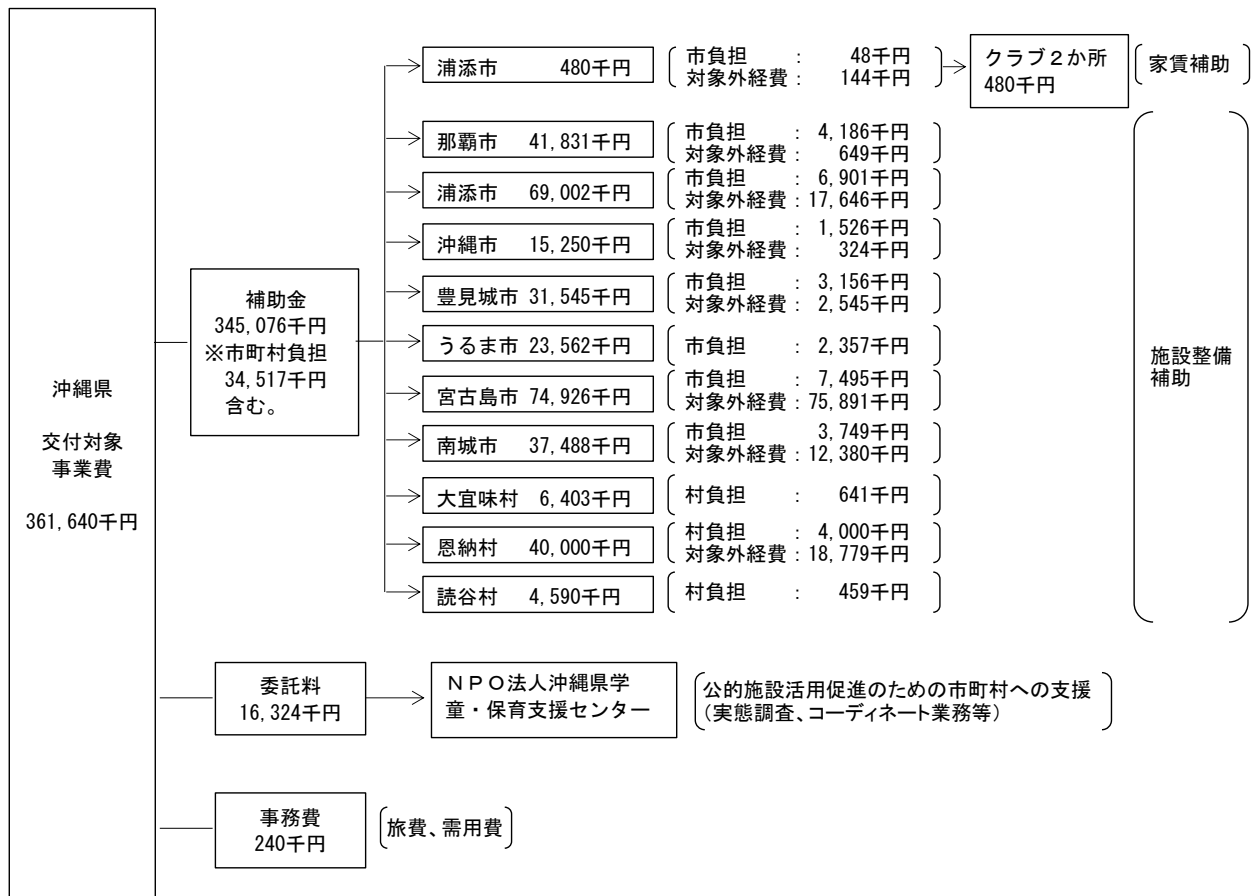
## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	49	放課後児童クラブ支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ				
担当部課名	子ども生活福祉部	子育て支援課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4		
事業内容	県内の放課後児童クラブの公的施設活用を促進することにより、クラブの環境改善及び利用者負担の軽減を図るため、以下の事業を実施する。 ①公的施設への移行促進 市町村の行う、小学校等の公的施設を活用した放課後児童クラブ施設整備に対し補助を行う。 ②放課後児童クラブの環境改善 公的施設移行が困難な放課後児童クラブについて、施設の老朽化に伴う改修及び修繕に要する経費へ補助。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	419,046		443,205			
		(b)予算現額	286,097		400,536			
		(c)増減額(b-a)	▲132,949	0	▲42,669	0	0	
		(d)前年度繰越額		97,214		169,026		
		A.計(b+d)	286,097	97,214	400,536	169,026	0	
	B.執行済額		164,630	86,471	213,636	148,004		
	うち交付金充当額		131,704	69,177	170,909	118,403		
	C.次年度繰越額		97,214	0	169,026	0		
	執行率(%) (B/A)		57.5%	88.9%	53.3%	87.6%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		・平成30年度(繰越)の執行率は87.6%であり、市町村における施設整備費(設計・工事費)の執行残が発生したことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	市町村に対する施設整備支援数	目標	17	20	21	21		
		実績	13	15	21	21		
	【H30以前活動目標】 クラブの環境改善に係る支援数	目標	6	3	2	—		
実績		4	1	0	—			
進捗状況説明	・平成30年度(繰越事業を含む)の施設整備支援数について、実施目標の21箇所を達成した。 ・クラブの環境改善に係る支援数については、平成30年度は2箇所を予定していたものの、整備計画の見直しにより、未実施となっている。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)	
	①保護者の就業しやすい環境に寄与したか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	—		80%		—	
		実績	—		95.6%		—	
	②保護者が安心して児童を預けられる環境に寄与したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	—		80%		—	
		実績	—		94.1%		—	
進捗状況説明	・保護者の就業しやすい環境に寄与したか(80%以上)をアンケートで検証し、寄与したと回答した者が95.6%となり、目標を達成した。 ・保護者が安心して児童を預けられる環境に寄与したか(80%以上)をアンケートで検証し、寄与したと回答した者が94.1%となり、目標を達成した。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①実施したアンケートによると、公的施設移行により、通所が安全になった、学校施設を利用できるので助かる、教員と顔を合わせる機会が増えて連携が取りやすくなった等の声がある。その一方で、校内での施設立地が悪い、部活動により運動場が使用できない等により、遊び場に制限がある点が不満点として表れており、子どもの安全・安心な環境の確保については一層の改善を図る必要がある。	①適切な遊び及び生活の場を提供するという放課後児童クラブの趣旨を踏まえ、公的施設への移行に際しては、校内での整備箇所や移行後の学校施設の利用について、実施主体の市町村に課題の共有を図ったうえで、整備を進める必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
①実施したアンケートでは、学校内での子どもの遊び場の確保等が課題となっていることから、本事業の市町村説明会等の場で改善点を共有する。また、市町村福祉担当課等と連携して学校関係者側に働きかける際には、クラブの遊び場確保についても調整を図り、子どもの安全・安心な環境の一層の確保を進めていく。併せて、これら取組の結果について、引き続きアンケート等により検証を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
489,998	361,640	289,312	37,811	34,517	0	128,358



資金の流し、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、委託事業者は公募型プロポーザル方式により体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○公的施設を活用したクラブ整備により、環境改善、質の向上、利用料低減を図ることを目的としている。予算規模・実施方法ともに目的に合致しており、適正であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

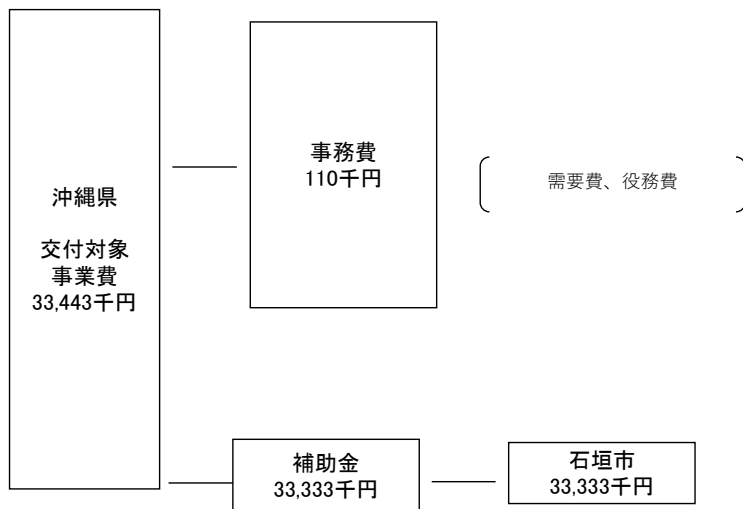
## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	51	事業所内保育総合推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部課名	子ども生活福祉部子育て支援課	事業実施(予定)年度	H26 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4			
事業内容	待機児童の解消と働きやすい環境の整備のため、事業所内保育推進コーディネーターを配置するほか、地域型保育事業の認可を受ける施設の整備費を支援することで、事業所内保育施設の設置を総合的に推進する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	87,311		33,510			
		(b)予算現額	53,978		31,843			
		(c)増減額(b-a)	▲ 33,333	0	▲ 1,667	0		0
		(d)前年度繰越額				33,510		
		A. 計(b+d)	53,978	0	31,843	33,510		0
	B. 執行済額		35,548		109	33,333		
	うち交付金充当額		28,439		87	26,667		
	C. 次年度繰越額		0		33,510	0		0
	執行率(%) (B/A)		65.9%	#DIV/0!	0.3%	99.5%		#DIV/0!
予算の状況の説明		入札不調に伴う設計等の見直しに不測の日数を要したため、年度内での完成が困難となり次年度へ繰り超しとなった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	施設整備支援	目標	6施設	3施設	4施設			
		実績	6施設	1施設	1施設			
進捗状況説明	・当初予定していた4施設のうち3施設が事業者の都合で取り下げとなった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)	
	施設整備支援による待機児童減少数		目標	79	70		—	
			実績	19	12		—	
	進捗状況説明	・成果目標である待機児童減少数70人については、実績が12人で未達成となっている。達成できなかった理由は当初予定していた3施設が事業者の都合で取り下げとなったため。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や事業者への説明会を開催する等により事業の周知拡大を図ったが、内閣府が実施する企業主導型保育事業を選択する事業者が多い。</li> <li>・保育士の確保について、企業主導型保育事業では保育従事者の半数以上が保育士である必要があるが、事業所内保育事業は原則保育士である必要があり、保育士の確保が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内保育事業を推進する意義等を周知し、事業者の掘り起しを図る必要がある。</li> <li>・沖縄県保育士・保育所総合支援センターと連携し、潜在保育士を含め保育士の確保を図る必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、市町村や事業者に対し、事業要件や事業効果等を説明し、事業者の掘り起しを図る。</li> <li>・事業所内保育推進コーディネーター業務を沖縄県保育士・保育所総合支援センターに統合し、市町村・事業者・保育士就労斡旋コーディネーターとの連携を強化し、保育士の確保を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
105,162	33,443	26,754	5,022	1,667	0	71,719



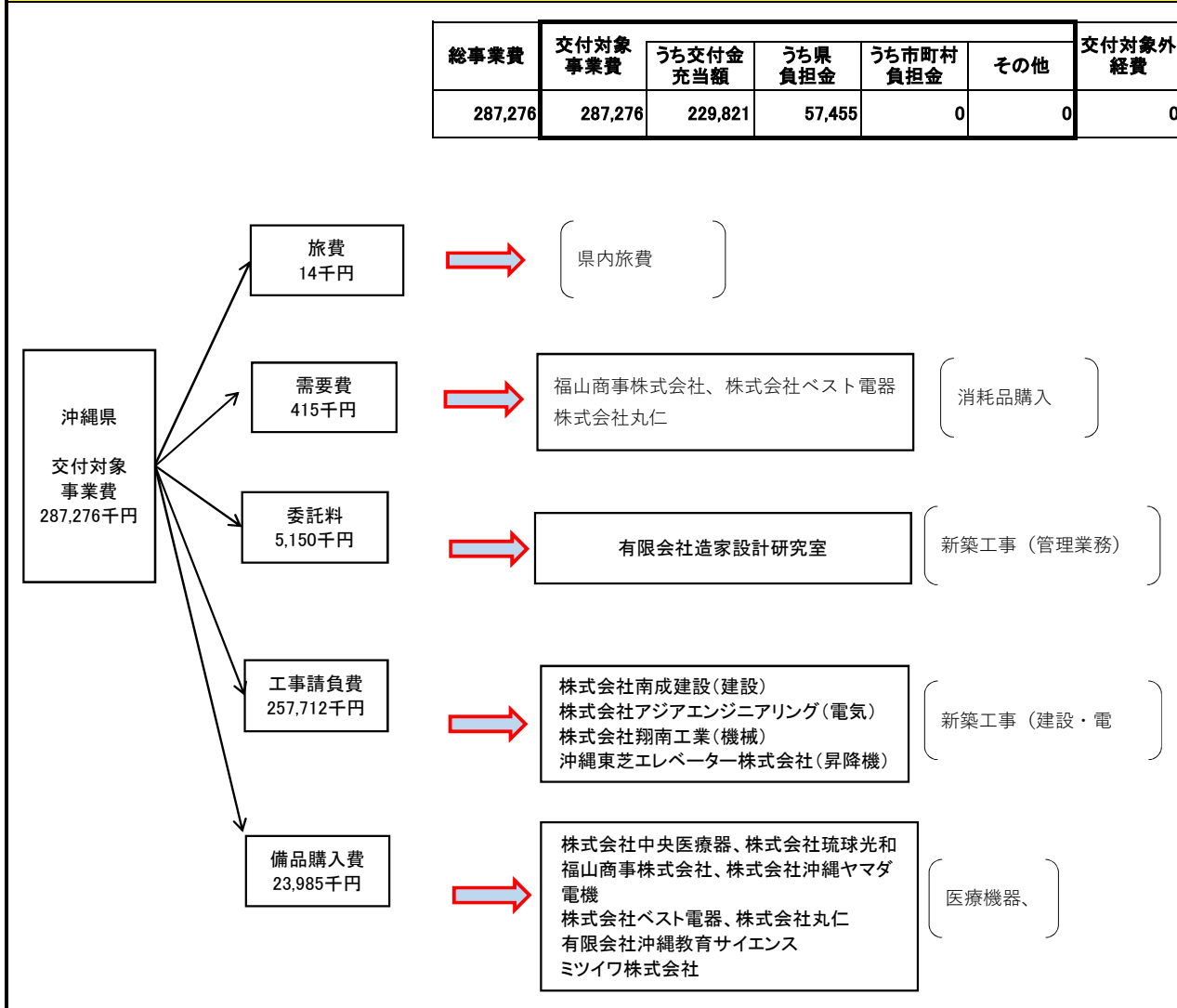
資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	55	性暴力被害者ワンストップ支援センター体制整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア			
担当部課名	子ども生活福祉部女性力・平和推進課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり Ⅲ-4		
事業内容	性暴力被害者への対応の迅速化を図るため、県立中部病院敷地内に、相談室及び診察室を備えた建物を整備する。平成30年度から令和元年7月末まで、建築工事の実施及び施設の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			291,933		
		(b)予算現額			291,933		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額				195,053	
		A.計(b+d)	0	0	291,933	195,053	0
	B.執行済額				96,880	190,396	
	うち交付金充当額				77,504	152,317	
	C.次年度繰越額				195,053	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	33.2%	97.6%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・需用費・備品購入費において、入札・見積合わせによる経費節減に努めたことにより、執行率が97.6%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
	性暴力被害者ワンストップ支援センターの施設整備の実施	目標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		実績			施設整備の実施	施設整備の実施	
	進捗状況説明	・平成30年8月20日に「性暴力被害者ワンストップ支援センター新築工事着工会議」が開催され、建設工事期間は平成30年8月22日から平成31年3月15日までの予定であったが、病院利用者の安全性を確保して工事を進める必要があることなどから、4ヶ月程度の工期延長を要することとなった。					
		・令和元年7月10日に建設工事完了検査を実施し、7月11日に施設の引き渡しが行われ、目標値を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)
	性暴力被害者ワンストップ支援センターの施設完了	目標	-			令和元年7月	-
		実績	-			令和元年7月	-
	急性期の被害者の相談受付からの受診までの平均時間短縮	目標	-			5時間	-
		実績	-			5時間	-
	進捗状況説明	・性暴力被害者ワンストップ支援センターの建築工事については、令和元年7月10日に建設工事完了検査を実施し、7月11日に施設の引き渡しが行われた。また、施設の整備について、備品、消耗品の購入・納品及び検査は令和元年7月31日までに完了し、目標値を達成した。					
・性暴力被害は、被害後出来るだけ早い段階で医療支援を含めた適切な支援を受けることが重要であることから、相談受付から受診まで迅速に提供できる体制を作っており、目標値を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・性暴力被害は、被害後出来るだけ早い段階で適切な支援を受けることが大切であることから、性暴力被害者ワンストップ支援センター(病院拠点型)の更なる周知を図る必要がある。また、引き続き円滑な運営が行えるよう関係機関と連携していく必要がある。</p>	<p>・ホームページやFacebookによる広報啓発や性暴力被害者ワンストップ支援センターの電話番号を載せた広報用カードを活用した周知等の広報啓発の強化を図る必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・小、中、高等学校やフリースクール、医療機関等へ性暴力被害者ワンストップ支援センターの電話番号を載せた広報用カードを送付し、広報啓発の強化を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○新築工事に係る事業者は一般競争入札により選定しており、選定方法は妥当である。</p> <p>○備品、消耗品購入に係る事業者は、一般競争入札や見積り合わせにより選定しており、選定方法は妥当である。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

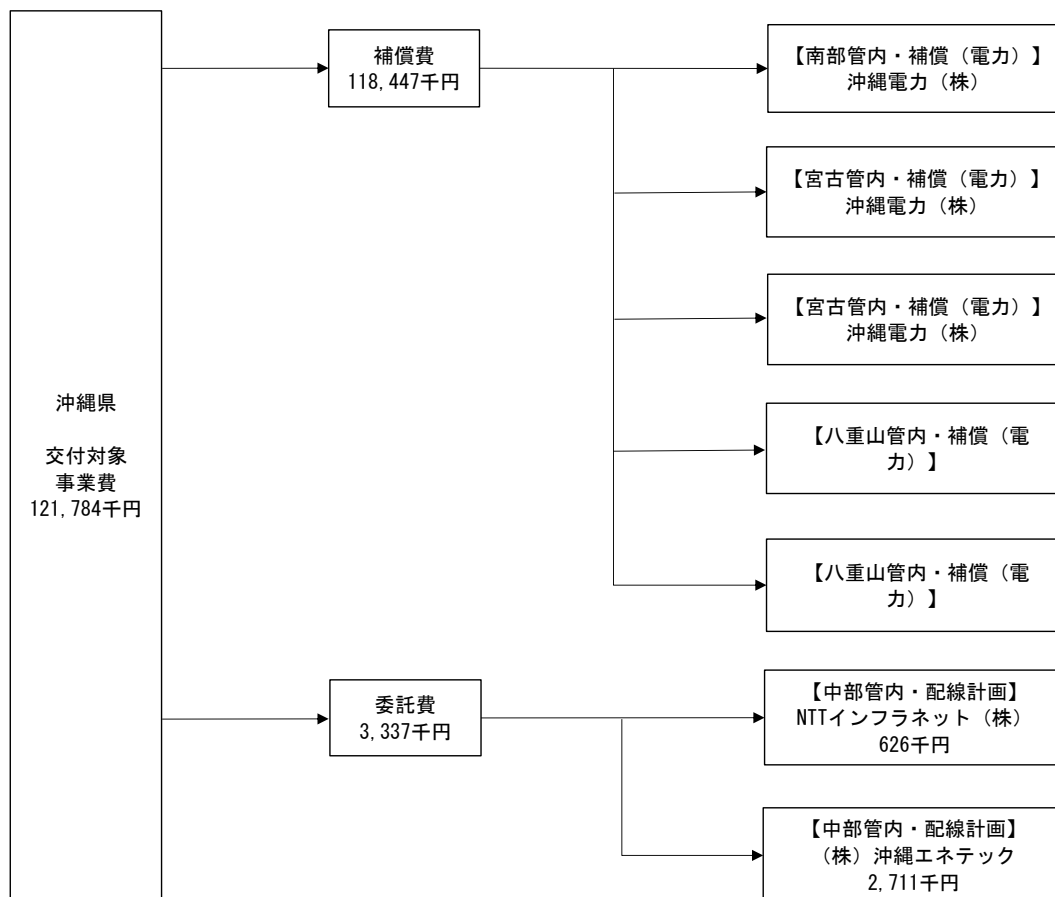
事業番号・事業名	203	無電柱化推進事業(要請者負担方式)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)			
事業内容	台風襲来時の電柱倒壊による緊急輸送道路の寸断を防ぐこと及び都市景観の向上を図るため、無電柱化を推進する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R3 年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 補償 )							
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	200,000			308,000		
		(b)予算現額	200,000			121,925		
		(c)増減額(b-a)	0		0	▲186,075	0	0
		(d)前年度繰越額			31,699		7,562	
		A.計(b+d)	200,000		31,699	121,925	7,562	
	B.執行済額		161,400		31,340	114,362	7,422	
	うち交付金充当額		129,120		25,072	91,490	5,937	
	C.次年度繰越額		31,699			7,562		
	執行率(%) (B/A)		80.7%		98.9%	93.8%	98.1%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・平成30年度予算は電線・ケーブル等の配線計画、電線の入線設計及び工事に要する経費を計上したが、現場条件の変化等により、ハード交付金で実施する電線共同溝本体工事の完了が遅れたことにより、電線の入線設計・工事に関する補償契約が出来ずに次年度に繰り越すこととなった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
				H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	対象路線において、電線管理者への補償(ケーブル設計、引込設計など)を3路線で実施	目標	補償の完了(3路線)		補償の完了(3路線)	補償の完了(3路線)		
		実績	3路線		2路線	3路線		
		目標						
		実績						
進捗状況説明	・電線管理者と入線設計・工事が可能な路線について調整を行い、目標としていた3路線への補償を達成している。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(24年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)	
	電線管理者への補償 3路線(国道390号(石垣市・宮古島市)、県道49号線)	目標	-	補償の完了(3路線)	補償の完了(3路線)		-	
		実績	-	2路線	3路線		-	
	【R3 成果目標】 電柱撤去後、観光地としてふさわしい道路景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標				80%以上	
	【参考指標】 無電柱化整備総延長(災害時のライフライン確保)		目標		149.0km	154.7km	173.2km	
進捗状況説明	・電線管理者と入線設計・工事が可能な路線について調整を行い、目標としていた3路線への補償を達成している。 ・無電柱化推進事業は、電線の入線及び既設電柱の抜柱まで行ってから成果が発現することから、引き続きハード交付金で実施した電線共同溝への入線設計・工事を電線管理者と調整し早期の完了を図る。							

5,937では?  
(道路管理課)  
5,937へ修正しました。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沿道住民との調整が必要となる引込管の整備について、その協議に相当の時間を要しており、ソフト交付金による電線管理者への入線設計・工事に関する補償時期に影響を与えている。</p>	<p>・電線管理者と沿道住民との協議等を円滑に進めるため、引込管の整備計画について電線管理者と検討を行い、沿道住民の理解を得られるよう課題等の解決に取り組む。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・電線管理者の引込管整備計画等について、複数の電線管理者及び道路管理者間で情報共有を行い、円滑な事業執行に努めるとともに、沿道住民との合意形成についても連携しながら取り組んでいく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
121,784	121,784	92,427	29,357	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補償契約の相手先は、沖縄電力(電線管理者)となっており、支出先として妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1	特定地域特別振興事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ			
担当部課名	知事公室 基地対策課	事業実施(予定)年度	H25 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決		
事業内容	旧軍用地問題の解決を図るため、旧日本軍による飛行場用地の接収により、伝統・文化等の進展が阻害された地域の振興・活性化に向けた関係市町村の取組を支援する。 H30年度は、那覇市のともかぜ振興会館(仮称)の整備に係る工事及び大嶺の振興・活性化に資する施設の整備に係る基本計画策定に係る費用への補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和3年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	64,899	32,456	421,302	185,456	492,683
		(b)予算現額	64,899	32,456	374,622	185,456	501,721
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲46,680	0	9,038
		(d)前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	64,899	32,456	374,622	185,456	501,721
	B.執行済額		24,225	32,157	179,049	185,456	244,211
		うち交付金充当額	21,533	28,584	159,154	164,850	217,077
		C.次年度繰越額	32,456	0	185,456	0	257,382
	執行率(%) (B/A)		37.3%	99.1%	47.8%	100.0%	48.7%
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>ともかぜ振興会館(仮称)建設事業にかかる磁気探査を実施したところ、建設予定地に異常点が多数(探査実施箇所の約87%)で発見され、再探査に時間を要したため、工期が確保できず、年度内の事業完了が困難となり、185,456千円の繰越を行った。なお当該繰越分については、令和元年2月12日に事業完了した。</li> <li>執行率については100%であり、計画的に執行できた。</li> </ul>						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	特定地域特別振興事業を実施する那覇市に対し、ともかぜ振興会館(仮称)の整備に係る工事の費用への支援を行う。	目標	-	実施設計完了	工事実施(30%)	-	
	実績	-	実施設計一部完了	目標達成	-		
進捗状況説明	ともかぜ振興会館(仮称)の整備に係る工事について、令和元年度に繰越して実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(33年度)	
	ともかぜ振興会館(仮称)の整備に係る工事実施(30%完了)	目標	-	実施設計完了	工事実施(30%)	工事実施(30%)	-
		実績	-	実施設計一部完了	目標一部達成	目標一部達成	-
進捗状況説明	ともかぜ振興会館(仮称)の整備に係る工事について、令和元年度に繰越して実施し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ともかぜ振興会館(仮称)」の建築工事については、県内外の建築需要の拡大により、鋼材等の一部の建築資材が品薄となっており、工期に影響が出る可能性がある。</li> <li>・大嶺の振興・活性化に資する施設である「大嶺コミュニティセンター(仮称)」の基本計画を踏まえた基本設計を策定する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施中の建築工事については、建築資材の現場搬入時期を踏まえた工程管理を行う必要がある。</li> <li>・大嶺地区の基本設計策定業務委託を滞りなく発注するとともに、地元説明会等により、関係者の意見・要望等を計画に反映させる必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<p>・那覇市が実施する「ともかぜ振興会館(仮称)」工事の工程管理及び県・市・工事業者との綿密な連絡調整を行うとともに、大嶺コミュニティセンター(仮称)基本設計等の早期発注に取り組み、地域のニーズが反映された施設設計が図られるよう進捗管理を徹底する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
206,062	206,062	164,850	20,606	20,606	0	0

沖縄県  
 交付対象  
 事業費  
 206,062千円

→

補助金  
 185,456千円

→

那覇市  
 事業費:206,062千円  
 (県) 185,456千円  
 (市) 20,606千円

( 委託料 )

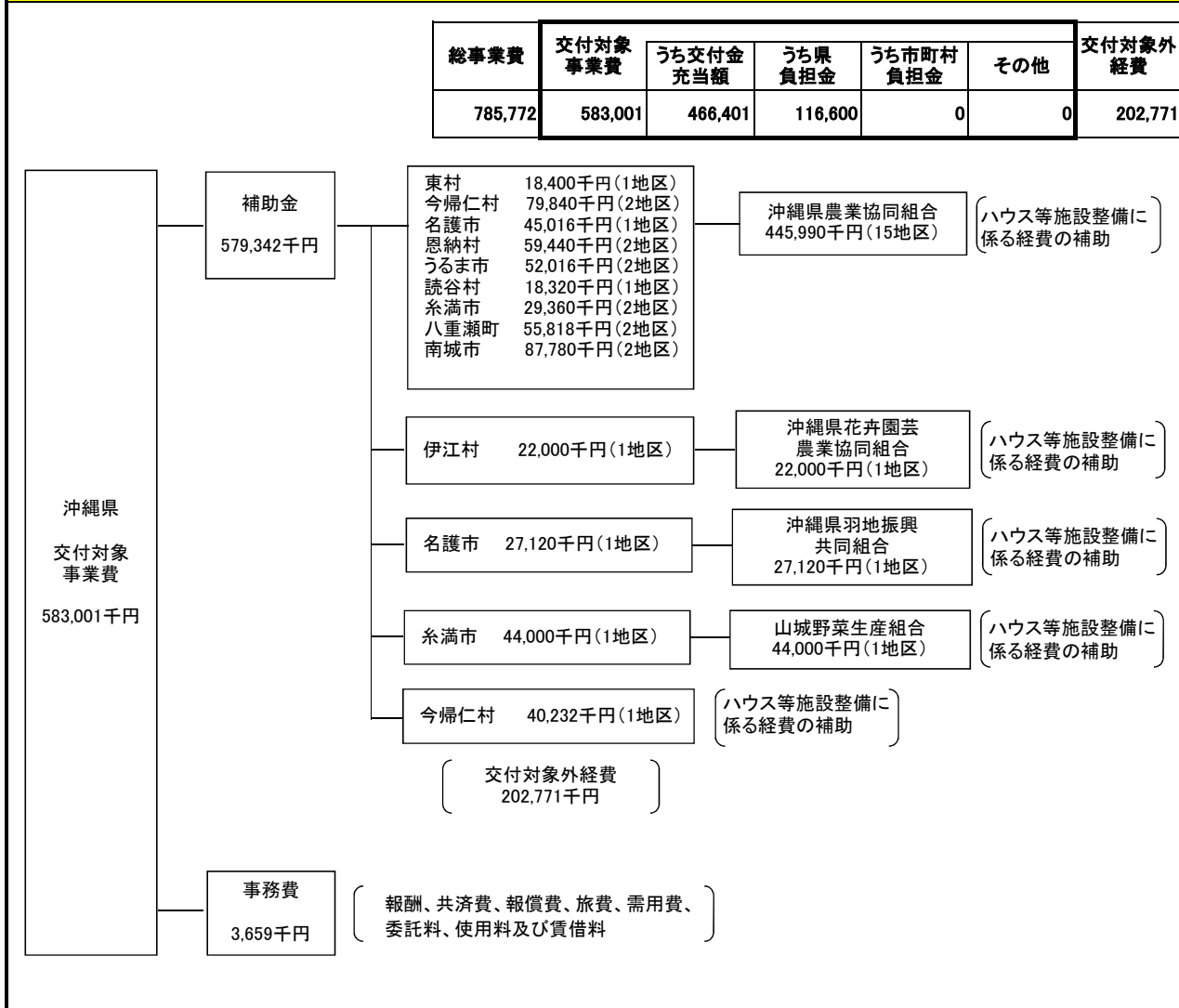
資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、事業主体である那覇市が入札により委託事業者を選定しており、妥当である。また、負担関係については、8割が交付金による補助で残りの2割を県と那覇市が等分負担している。解体工事、請負・工事監理に関するものであり、予算規模も事業規模に対して適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	88	災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア			
担当部署名	農林水産部園芸振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	不安定な気候変動の影響を受けて、施設内の環境が悪化し、農作物の生育が阻害されることを防ぐため、自然災害に強い栽培施設と施設内の環境制御設備を一体的に導入し、亜熱帯性気候等の優位性を最大限に生かした施設栽培の展開を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			827,306		
		(b) 予算現額			589,132		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 238,174	0	0
		(d) 前年度繰越額				234,729	
		A. 計(b+d)	0	0	589,132	234,729	0
	B. 執行済額				354,403	228,598	
	うち交付金充当額				283,523	182,878	
	C. 次年度繰越額				0		0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	60.2%	97.4%	#DIV/0!
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害等に対応し、亜熱帯性気候等の優位性を最大限に生かした施設栽培の展開により、園芸産地の生産供給体制を強化するため、平成30年度から新規事業(平成24年~29年度で実施した災害に強い栽培施設の整備事業の後継事業)として強化パイプハウス等の施設や施設内環境を制御する設備等の導入の支援を行った。</li> <li>・平成30年度予算は、新規事業のため市町村等関係機関との調整の遅れや受益農家の事業取り下げ等による実施予定地区の減少及び施設整備面積の減少により、不用及び翌年度に繰り越すこととなった。</li> <li>・最終的な執行率は99.0%であり、概ね計画的に執行できた。</li> </ul>					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・高機能型耐候性施設等の整備への支援		目標		22箇所、14ha		
		実績		19箇所、8.8ha			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標である22地区に対して計画策定に向けた支援を行ったが、事業実施に至ったのは19地区であった。整備面積については、実施地区数の減及び実施地区において計画見直し等が生じたことから、目標面積を5.2ha下回った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	・施設整備	目標	-		22箇所、14ha		-
		実績	-		19箇所、8.8ha		-
	・産地の実情に応じた高機能型栽培施設の整備及び効果検証の実施	目標	-		実施		-
		実績	-		実施した		-
	・環境制御設備等の整備を前提とした強化型耐候性施設の導入実施	目標	-		実施		-
		実績	-		実施した		-
【R2 成果目標】 ・事業導入した施設の単位収量と園芸産地全体の平均単位収量の増加量		目標	-			5%以上増	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標22地区に対し、事業実施したのは19地区であった。地区数が減少した要因は、平成30年度は新規事業のため市町村等関係機関との調整が遅れたことや受益農家の事業取り下げ等によるものである。整備面積については、実施地区数の減及び実施地区において計画見直し等が生じたことから、目標面積を5.2ha下回った。</li> <li>・産地の実情に応じた高機能型栽培施設の整備及び効果検証の実施について、農業研究センター及び産地協議会と連携して取り組む体制を整備した。</li> <li>・本事業は強化型耐候性施設と環境制御設備等を一体的に整備できる仕組みとしており、今年度は3地区で導入実績があった。当該施設が整備されたことにより栽培施設内の環境変動が緩和され、園芸作物の生育を促進することで、高品質で安定的な生産供給体制の強化に寄与した。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高機能型栽培施設」の導入に向けて、農業研究センターや産地協議会と連携して、環境制御設備に係る効果検証等の取組を強化することとしている。</li> <li>・生産現場では、近年の不安定な気候変動等の影響を受けて、栽培施設内の環境改善のため、環境制御を取り入れようとする意識が高まってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境制御設備に係る効果検証等の取組を効率的かつ効果的に推進するため、生産現場の課題等を拾い上げる仕組みを検討する必要がある。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境制御設備に係る効果検証等にあたり、本庁、農業研究センター、産地協議会等の関係機関が一体となった取組を進めていくため、課題の共有、効果検証の進め方などについて、定期的な話し合いを行っていく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱、実施要領、事業計画等を精査した上で実施地区を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○交付要綱で事業実施主体への補助率(80%)が定められており、負担関係について妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については、額の確定時において、事業目的達成の観点から現場確認及び支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

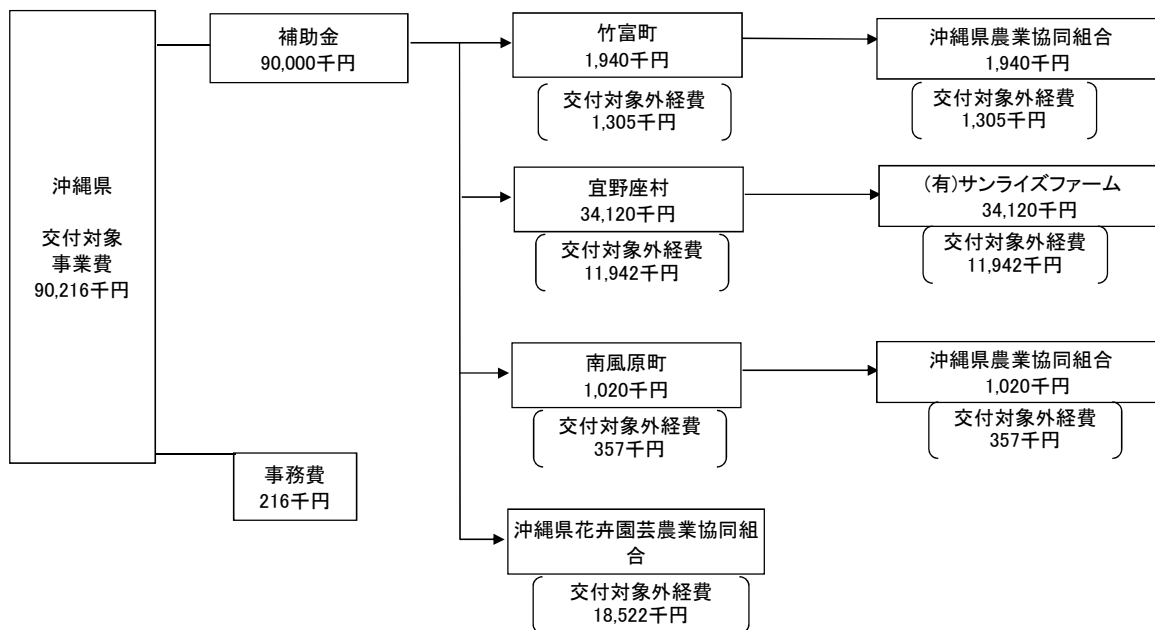
事業番号 ・事業名	89 園芸産地機械整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア				
担当部課名	農林水産部園芸振興課	事業実施 (予定)年度	H30 ~ R2 年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	産地力強化による生産拡大を図るため、園芸産地の機械整備を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額			99,557		
		(b) 予算現額			99,557		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額				2,061	
		A. 計(b+d)	0	0	99,557	2,061	0
	B. 執行済額				88,155	2,061	
	うち交付金充当額				70,524	1,649	
	C. 次年度繰越額				2,061	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	88.5%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・令和元年度予算は、資材費及び人件費高騰等の要因により入札不調が生じた結果、計画期間内での事業完了が困難となり、翌年度に繰り越すこととなった。 ・執行率は100%だった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	農業用機械等の整備への支援	目標			5産地		
		実績			6産地		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
進捗状況説明	・機械導入に対する支援により、加温機(マンゴー)、自動結束ロボット付選果機(キク)等を整備し、産地の育成強化を図り、目標5産地に対して実績6産地であった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (〇〇年度)
	園芸産地に対する農業用機械の整備	目標	-		5産地		-
		実績	-		6産地		-
		目標	-				-
		実績	-				-
	[R 成果目標]	目標					
[R 成果目標]	目標						
進捗状況説明	・成果目標である園芸産地に対する農業用機械の整備については、南風原町(カボチャ)、宜野座村(マンゴー)、今帰仁村(キク)、うるま市(キク)、読谷村(キク)、竹富町(カボチャ)の6産地実施した。						



取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・農業団体へ直接補助を実施したことで効率的な執行ができた反面、園芸産地育成について市町村との連携が弱まった。</p>	<p>・間接補助を基本とすることで市町村との関わりを強化しつつ、きめ細かい調整を行い、これまで以上に事業執行のスピード感を向上させる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・野菜、果樹、花きの生産拡大に向けて、引き続き機械化の推進が必要のため、市町村をはじめ関係機関との連携を強化した取り組みによって早期執行を図り、事業効果の早期発現が得られるよう努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
122,342	90,216	72,173	18,043	0	0	32,126



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○交付要綱、実施要領、事業計画等を精査した上で実施地区を選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○交付要綱で事業実施主体への補助率(80%)が定められており、負担関係について妥当であった。</p> <p>○補助金については、額の確定時において、事業目的達成の観点から現場確認及び支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



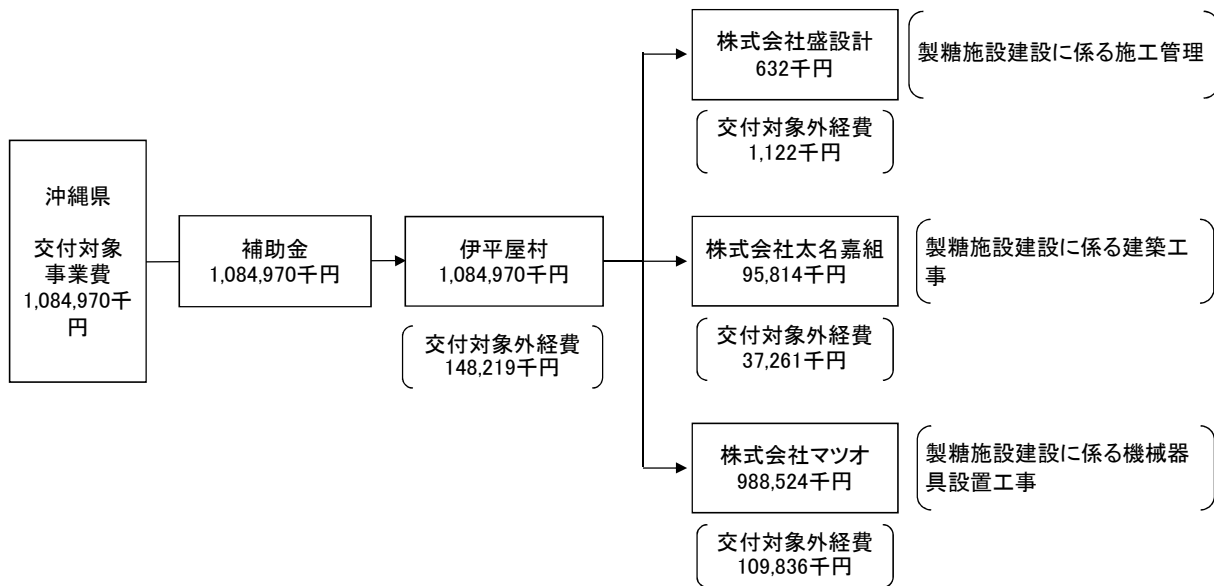
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	93 含みつ糖製糖施設近代化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ					
担当部課名	農林水産部糖業農産課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R1 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化 Ⅲ-1-(6) Ⅲ-9		
事業内容	製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」の持続的振興を図るため、製糖事業者の経営体質強化のための製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質の向上及び衛生管理の徹底等のための施設整備等に対する支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	996,921	0	988,524	0		
		(b) 予算現額	295,974	0	1,109,870	0		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 700,947	0	121,346	0		
		(d) 前年度繰越額	-	179,966	-	48,539		
		A. 計(b+d)	295,974	179,966	1,109,870	48,539		
	B. 執行済額		116,008	179,966	1,036,431	48,539		
		うち交付金充当額	92,806	143,972	829,144	38,831		
		C. 次年度繰越額	179,966	0	48,539	0		
	執行率(%) (B/A)		39.2%	100.0%	93.4%	100.0%		
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度繰越事業は、伊平屋地区における製糖施設整備の補助を行った。伊平屋地区の事業は、平成29~令和元年度の3カ年事業の計画となっている。</li> <li>平成30年度は、建築設計及び機械器具製造工事を予定していたが、建築工事について建築基準法による建築確認申請に係る補正への対応や手続きに不測の日数を要したため、次年度へ繰越が必要となった。</li> <li>最終的な執行率は100%であり、計画的に執行できた。</li> </ul>							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	含蜜糖製糖施設整備に対する支援		目標	1工場	1工場	1工場	-	
			実績	1工場	1工場	1工場	-	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>含蜜糖製糖施設整備に対する支援については、昭和40年から約50年間稼働し、老朽化した伊平屋村の製糖施設について、衛生管理の徹底、製造コストの低減等を図るため、近代的な製糖施設の整備を行う伊平屋村に対して補助を行った。伊平屋地区の製糖施設整備は、平成29年度から3カ年の建替計画となっている。</li> <li>平成30年度繰越事業については、計画的に執行し、工場建替に寄与した。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	
	伊平屋村の含蜜糖製糖施設整備実施		目標	-	1工場	1工場	整備実施	-
			実績	-	1工場	1工場	整備を実施した	-
	【R2成果目標】 全量買い入れを行った含蜜糖製糖工場		目標	-	-	-	-	1工場
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>含蜜糖製糖施設整備に対する支援については、昭和40年から約50年間稼働し、老朽化した伊平屋村の製糖施設について、衛生管理の徹底、製造コストの低減等を図るため、近代的な製糖施設の整備を行う伊平屋村に対して補助を行った。伊平屋地区の製糖施設整備は、平成29年度から3カ年の建替計画となっている。</li> <li>平成30年度繰越事業については、計画的に執行し、工場建替に寄与した。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製糖施設の整備は、機器類の選定や設計等について、専門的な知識が必要であり、村職員のみでの対応は困難であるため、施設の指定管理を受ける製糖事業者と連携して事業を遂行した。</li> <li>・建設関係の受注量が県内外において増加しており、技術者や資材の確保に時間を要するなど、工期が長引く状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の早期執行を行い、工事期間の確保を図る必要がある。</li> <li>・事業実施主体である町村や糖業関係者との連携強化により、事業進捗状況を共有し、事業効果の早期発現につなげる必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊平屋村及び製糖事業者と連携を図りながら、事業の早期施行により、工事工期の確保を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
1,233,189	1,084,970	867,976	216,994	0	0	148,219



資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模は、さとうきび原料の量を勘案した施設整備の規模となっており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

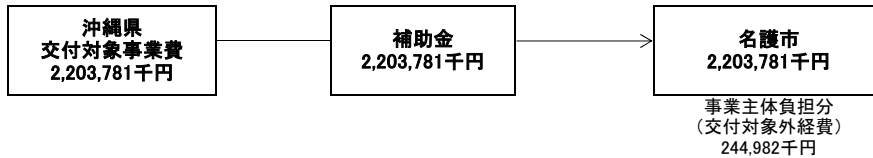
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	96 食鳥処理施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ			
担当部課名	農林水産部畜産課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	県産鶏肉の安全・安心の確保、安定供給を維持するため、県産鶏肉の衛生管理・品質管理の高度化に取り組む市町村に対し補助する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			731,247		
		(b) 予算現額	864,270		2,233,801		
		(c) 増減額(b-a)	864,270	0	1,502,554	0	0
		(d) 前年度繰越額		862,092		952,500	
		A. 計(b+d)	864,270	862,092	2,233,801	952,500	0
	B. 執行済額		2,178	862,088	1,281,204	922,577	
	うち交付金充当額		1,742	689,671	1,024,962	738,062	
	C. 次年度繰越額		862,092	0	952,500	0	0
	執行率(%) (B/A)		0.3%	100.0%	57.4%	96.9%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・平成30年度については、相次ぐ台風の襲来により、建屋工事の中断が生じた。中断後の工程において県内建設業界の職人不足によって、労務者の確保が困難となり、さらに建屋工事の進捗に遅れが生じた。それに伴い、一体となって進めているその他工事についても遅れる工程となり年度内の完了が困難となったことから、繰越が必要となった。 ・最終的な執行率は96.9%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	市町村による施設整備	目標	用地造成、実施設計、建屋・施設工事着工、生産機械発注	建屋工事竣工、施設工事竣工、生産機械設置	市町村による施設整備		
実績		土木設計および実施設計業務の契約	建屋工事及び施設工事の一部施工、生産機械の保管などを実施し、平成29年度事業分完了。	建屋工事、機械設備工事、生産機械設備工事、排水設備及び外構整備工事などを実施し、平成30年度事業分完了。			
進捗状況説明	相次ぐ台風の襲来により、建屋工事の進捗に遅れが生じ、現年での完了が困難となり繰り越したが、建屋工事、機械設備工事、生産機械設備工事、排水設備及び外構整備工事などを実施し、平成30年度事業分を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)
	R1年度施設竣工	目標	-			施設竣工	-
		実績	-			施設竣工	-
		目標	-				-
		実績	-				-
	【R5成果目標】 1日当たりの食鳥処理羽数	目標					17,000羽
【R5成果目標】 出荷製品からの食中毒等発生	目標					0件数	
進捗状況説明	相次ぐ台風の襲来により、建屋工事の進捗に遅れが生じ、現年での完了が困難となり繰り越したが、建屋工事、機械設備工事、生産機械設備工事、排水設備及び外構整備工事などを実施し、平成30年度に予定していた業務を完了した。成果目標については、平成30年度に予定していた業務の完了により達成できる成果目標を設定していなかったため、達成することができなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	実施期間内の施設竣工には、事業主体の計画的な事業遂行が必要である。	事業主体と密に連携を図り、計画的な事業執行に努める必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
施設整備に向けて関係機関と連携を図り、令和元年度竣工に向けて事業の進捗管理を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
2,448,763	2,203,781	1,763,024	440,757	0	0	244,982



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算繰越については、相次ぐ台風の襲来により、建屋工事の進捗に遅れが生じたためであり、予算規模は適正と考えている。 ○受益者である名護市は総事業費の1割を負担しており事業内容から判断しても妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6	離島航路運航安定化支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	企画部交通政策課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-⑨			
事業内容	離島住民のライフラインである離島船舶を確保・維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、航路事業者が船舶を確保する際の建造費又は購入費を補助する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和1年度、令和3年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	204,356	-	755,532	-	-	
		(b)予算現額	204,356	-	755,532	-	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	-	
		(d)前年度繰越額	-	-	-	343,845	-	
		A.計(b+d)	204,356	-	755,532	343,845	-	
	B.執行済額		203,829	-	411,687	343,809	-	
	うち交付金充当額		163,063	-	329,349	275,047	-	
	C.次年度繰越額		0	-	343,845	0	-	
	執行率(%) (B/A)		99.7%	-	54.5%	100.0%	-	
予算の状況の説明		・粟国航路の船舶建造に対する補助について、工期の遅れから平成31年3月に予定していた起工式が延期となったため、平成30年度予算のうち343,845千円(うち県予算309,491千円)を令和元年度に繰り越した。このため、平成30年度予算の執行率は54.5%となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	航路事業者に対する船舶建造補助		目標	助成2件	助成1件	助成2件	-	
			実績	助成2件	助成1件	助成2件	-	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、粟国航路の船舶建造(H30年度からR2年度の3カ年計画)及び久高航路の船舶建造(H29年度及びH30年度の2カ年計画)に対して補助を行った。</li> <li>平成30年度までに、伊平屋、与那国、伊是名、座間味、水納、久高航路の船舶建造及び南北大東、渡嘉敷、久米・渡名喜航路の船舶購入に対し補助を行い、9航路9隻の船舶更新が完了し、航路運航の安定化が図られた。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(24年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)	
	船舶建造の支援		目標	-	1航路	2航路	-	-
			実績	-	1航路	2航路	-	-
	【参考指標】船舶の確保により維持された県内離島航路数		目標	-	22航路	22航路	22航路	22航路
			実績	-	22航路	22航路	-	-
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、粟国航路及び久高航路の船舶建造に対して支援を実施しており、成果目標である「船舶建造の支援2航路」を達成した。</li> <li>船舶の確保により維持された県内離島航路数について、参考指標の目標値を達成しており、引き続き各種支援策を実施する。</li> <li>県内離島航路数について、平成27年1月の伊良部大橋の開通により、2航路(佐良浜航路・長山航路)が廃止となっている。</li> </ul>						

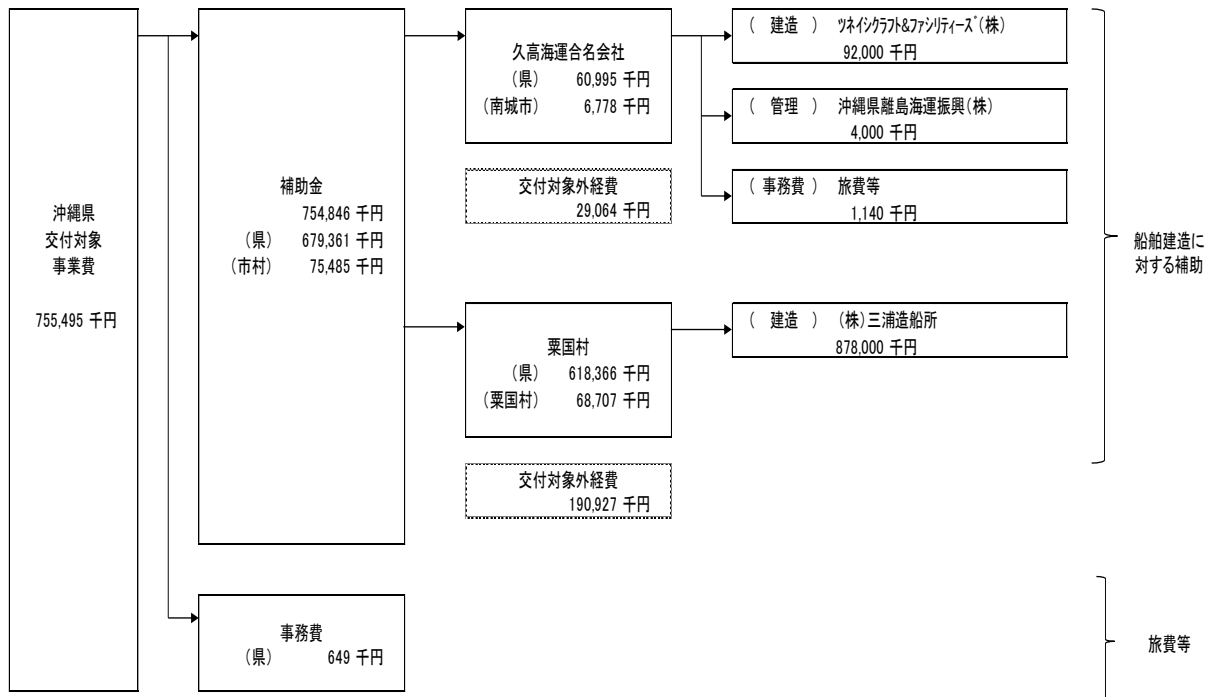
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<b>取組の検証</b> ・離島航路運航安定化支援事業による船舶の更新については、県、関係市町村及び航路事業者で構成する沖縄県離島航路確保維持改善協議会において策定した「沖縄県離島航路船舶更新支援計画」(以下、「支援計画」)に基づき、着実に進めていくことが重要である。 ・支援計画においては、原則、貨客船を更新支援の対象とし、1航路につき1度だけ船舶更新を受けることができるものとしているが、複数の船舶を運航している航路事業者からは、2隻目の更新も支援の対象とするよう要望がある。 ・2隻目の更新を支援対象とするためには、支援計画の変更(対象船舶の追加)が必要となる。	・近年、資材単価や人件費の上昇等の要因により、船舶の建造費は高騰している状況にある。 離島航路を維持確保するため、造船業界を取り巻く環境変化等を踏まえ、現在の補助単価の妥当性について検証を行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

・久米島・渡名喜航路の2隻目のフェリーの買取支援を行うためには、支援計画の変更が必要であるため、船舶の老朽化の状況や地域ニーズ等を踏まえ、県、関係市町村及び航路事業者で構成する沖縄県離島航路確保維持改善協議会において支援計画の変更について検討する。  
 ・支援計画の変更後、久米島・渡名喜航路の2隻目のフェリーの買取支援を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
975,486	755,495	604,396	75,614	75,485	0	219,991



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、「沖縄県離島航路船舶更新支援計画」に位置づけられており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・用途については、補助金交付要綱に基づき、事業目的達成の観点からも必要なものなのか等について、額の確定時において、支出等に関する資料により確認し、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担を求めつつ県が一定の上乗せ補助を行うことで財政規模の小さい公営航路事業者や零細事業者である民営航路事業者の負担軽減を図っており、負担関係は妥当であると考えている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	207	本部港立体駐車場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ		
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-11-(2)		
事業内容	本体工事を実施し、狭隘で常に満車状態である現状を解消し、フェリー利用観光客の利便性確保を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	-	666,000	0	
		(b)予算現額	5,724	-	666,000	0	
		(c)増減額(b-a)	▲4,276	-	0	0	0
		(d)前年度繰越額	-	-	-	666,000	
		A.計(b+d)	5,724	-	666,000	666,000	0
	B.執行済額		5,724	-	0	664,851	0
	うち交付金充当額		4,579	-	0	531,881	
	C.次年度繰越額		0	-	666,000	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	-	0.0%	99.8%	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和元年度に引き続き工事を実施し、令和2年1月に施設を完成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	立体駐車場本体の整備	目標			本体工事の着手	本体の整備	
		実績			本体工事の着手	本体の整備	
		目標					
		実績					
		目標					
実績							
進捗状況説明	立体駐車場本体の整備を完了し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	本体工事の完了	目標	-		本体工事の着手	本体工事の完了	-
		実績	-		本体工事の着手	本体工事の完了	-
	【R2成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該駐車場のあり方について検証する。		目標				
進捗状況説明	立体駐車場本体工事を完了し、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼材需要の増加に伴い資材の調達が長期化する傾向にあることから、工場での製作状況や納品時期について定期的な確認を行った。</li> <li>供用中の施設利用者へ影響が生じないように配慮しながら工事を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成した施設に不具合が生じないよう、定期的に点検や補修を行う必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な点検を実施するなど、適切な維持管理に取り組んでいく。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
666,000	666,000	532,800	133,200	0	0	0
<pre> graph LR     A[沖縄県 交付対象事業費 410,979千円] --&gt; B[工事請負費 406,128千円]     A --&gt; C[委託料 4,851千円]     B --&gt; D["(株)東開発・(有)マル井建設JV 259,286千円"]     B --&gt; E["(株)高橋土建・(有)全勝組JV 178,848千円"]     B --&gt; F["太田建設(株)・(合)イシン産業JV 183,193千円"]     B --&gt; G["(株)丸政工務店 38,673千円"]     C --&gt; H["(株)ワールド設計 4,851千円"]     D --- I["( ) 立体駐車場本体工事"]     E --- J["( ) 立体駐車場本体工事"]     F --- K["( ) 立体駐車場本体工事"]     G --- L["( ) 立体駐車場本体工事"]     H --- M["( ) 工事監理業務"]                     </pre>						
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○全ての請負工事及び委託業務を一般競争入札で実施しており、妥当であったと考えられる。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				



平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	211 離島利便施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ			
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9		
事業内容	屋根等の施設がないことで晴天時、雨天時において離島の住民の生活物資の荷捌き、引き取り、一時保管等に支障をきたしていることから、屋根付き利便施設を整備し、快適性・利便性の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,000		52,300		
		(b) 予算現額	78,500		92,200		
		(c) 増減額(b-a)	61,500	0	39,900	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	78,500	-	92,200	
	A. 計(b+d)		78,500	78,500	92,200	92,200	0
	B. 執行済額		0	77,997	0	5,724	0
	うち交付金充当額		0	62,398		4,579	
	C. 次年度繰越額		78,500	78,500	92,200	92,200	0
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.4%	0.0%	6.2%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・H30年度予算は委託費と建築工事費を計上している。 ・H30年度予算は建築工事の入札不調が生じたため、次年度に繰り越すこととなった。 ・入札不調により適正工期を確保できなかったことから、不用とし建築工事は未実施。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	実施設計	目標	-	3港	-		
		実績	-	2港	-		
	建築工事	目標	-	2港	1港		
		実績	-	2港	0港		
進捗状況説明	・H30年度予算の整備予定箇所は、入札不調により未実施のため、活動目標の達成には至っていない。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値
	荷捌き施設土間の表面温度を抑制する:11℃	目標	-	11℃	11℃		-
		実績	-	14.5℃	未実施		-
	進捗状況説明	整備予定箇所は、入札不調により未実施のため、成果目標の評価には至っていない。					

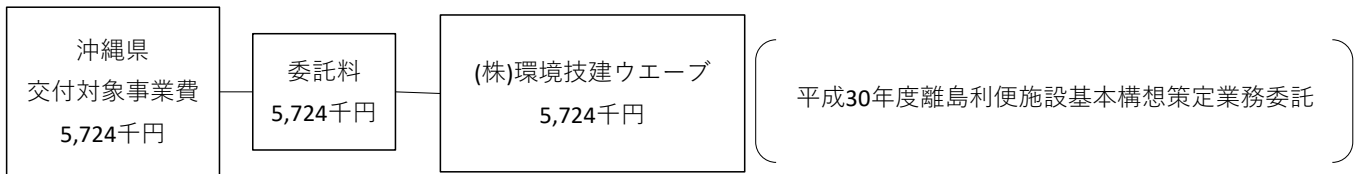
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元市町村や港湾利用者等からの意見を踏まえながら屋根付き利便施設の整備を推進していく。</li> <li>・また、離島工事の為、不調・不落が起りやすく繰越につながることから、原因の分析が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設配置や規模の検討については、地元利用者と密な調整を行い、配置を決定する。</li> <li>・県と事業者の積算の乖離、労働者不足の対策に取り組む必要がある。</li> <li>・離島工事のため、不調不落が多く繰越・不用の原因となっていることから、引き続き地元建設業協会及び関係市町村と発注方法・時期について調整を密に行い早期発注に取り組む。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・地元や港湾利用者の意見を踏まえながら、屋根付き利便施設の整備を推進していく。
- ・地元建設業協会等へのヒアリングによる発注方法及び積算の見直し作業等の不調・不落対策を講じ、整備を推進していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
5,724	5,724	4,579	1,145	0	0	0



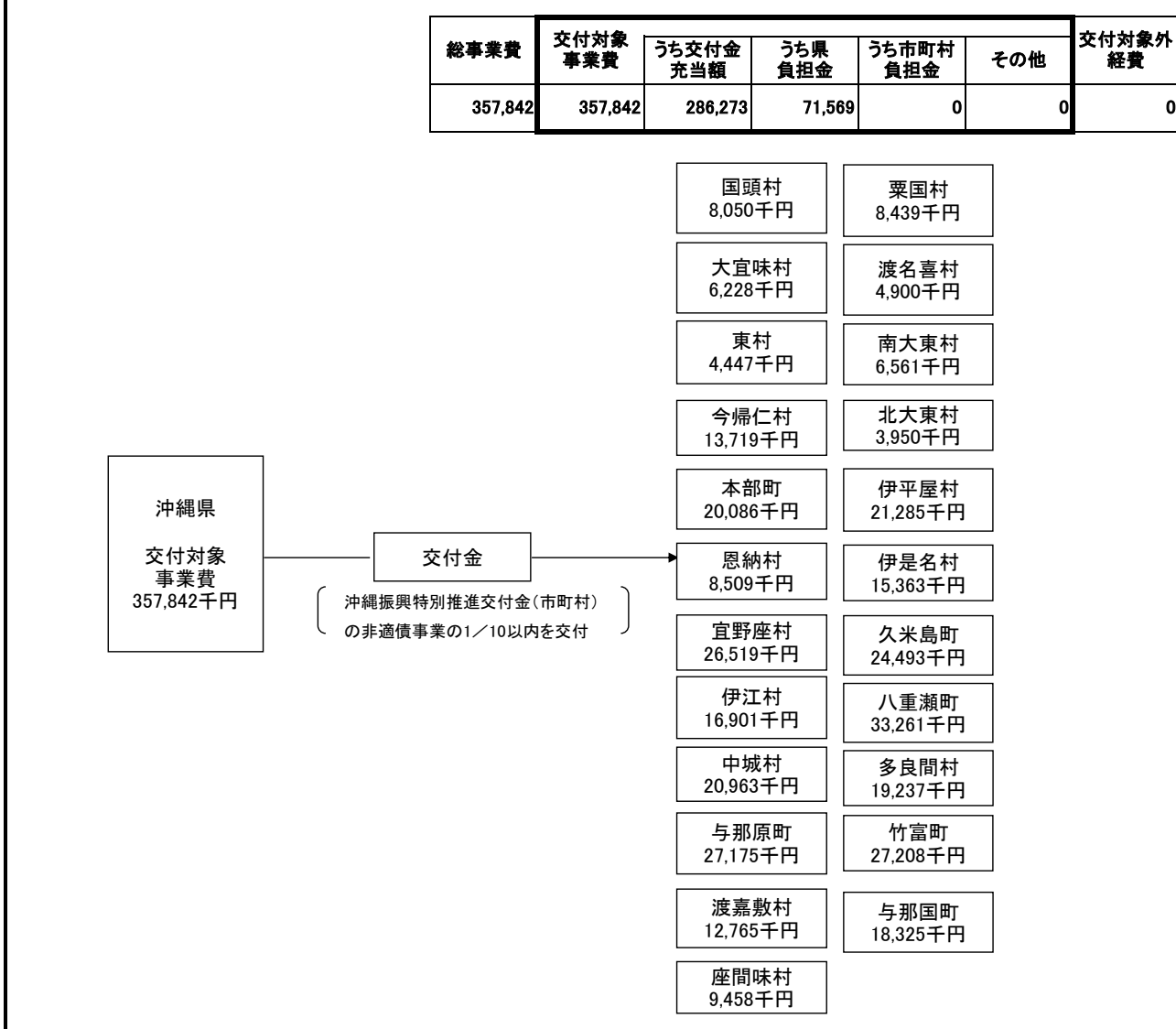
資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札により実績、資格等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	24	沖縄振興特別推進交付金町村支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(3)		
担当部課名	企画部 市町村課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地方自治拡大への対応		
事業内容	財政力の弱い町村が沖縄振興特別推進交付金を最大限活用できるよう、財政力の弱い町村に対して、沖縄振興特別推進交付金の町村負担分の一部についての財政支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	420,000	—	404,000	—	—
		(b) 予算現額	423,909	—	404,000	—	—
		(c) 増減額(b-a)	3,909	—	0	—	—
		(d) 前年度繰越額	—	18,001	—	5,954	—
		A. 計(b+d)	423,909	18,001	404,000	5,954	—
	B. 執行済額		372,160	7,545	353,000	4,842	—
	うち交付金充当額		297,728	6,036	282,400	3,873	—
	C. 次年度繰越額		18,001	—	5,954	—	—
	執行率(%) (B/A)		87.8%	41.9%	87.4%	81.3%	—
予算の状況の説明		<p>支援対象の町村における沖縄振興特別推進市町村交付金を活用した事業の一部が執行調整(関係機関との調整等)などに不測の日数を要して年度内完了が困難となったことに伴い、本事業の年度内完了が困難となり、次年度に繰り越すこととなった。</p> <p>執行率は87.3%であり、主に対象町村が実施した交付金事業において不用が発生したことや、本事業の支援対象となる非適債事業(起債の対象とならない事業・取り組み)に要する経費が想定を下回ったことなどによるものである。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	財政力の弱い町村への財政支援23町村		目標	23団体への支援	23団体への支援	23団体への支援	—
			実績	23団体への支援	23団体への支援	23団体への支援	—
達成状況説明	<p>財政力の弱い23町村が実施する沖縄振興特別推進市町村交付金を活用した事業のうち、非適債事業(起債の対象とならない事業・取り組み)に要する経費に対する支援を実施し、目標値を達成した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(〇〇年度)
	財政力の弱い町村に対する沖縄振興特別推進交付金の交付決定率100%		目標	—	100%	—	—
			実績	—	100%	—	—
	【参考】町村のうち、財政力の弱い町村の沖縄振興特別推進交付金の円滑な活用が図られることで、地域間の格差なく沖縄振興が推進される。		目標	—	支援町村の円滑な交付金事業の実施	—	—
			実績	—	支援町村の円滑な交付金事業の実施	—	—
	進捗状況説明	<p>財政力の弱い町村を支援することで町村における実質的な負担がなくなり、支援がなければ実施が困難だったような事業に対しても沖縄振興特別推進交付金の活用を図ることができる体制が整えられたことから、対象町村が実施を要望する事業について100%の交付決定を受け、目標を達成した。</p>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>H30年度から成果目標を見直し、財政力の弱い町村が沖縄振興特別推進交付金を最大限活用できるよう、交付決定率100%を目標値とした。当事業での支援により、町村における実質的な負担が軽減され、地域間の格差なく沖縄振興を推進することができた。</p> <p>執行上の課題としては、対象町村が実施する交付金事業のうち、非適債事業費の1/10が交付対象事業費となるため、金額の算定期間が短く年度末に集中することから、正確かつ迅速な算定を行う必要がある。</p>	<p>H30年度においては、前年度に引き続き対象町村へ町村支援事業の所要額について事前照会を行ったことで、算定事務の標準化、早期の所要額把握が可能となった。次年度においても、同様の取組を実施する必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>令和元年度においても、対象町村へ数度にわけて事前照会を実施するなど交付対象事業費(非適債事業費)の早期把握に努めるとともに、財政力の弱い町村が沖縄振興特別推進交付金を最大限活用できるよう、支援を実施する。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、費目・用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については、財政力指数をもとに、財政力の弱い離島過疎等23町村を選定しており、適正である。</p> <p>○予算額は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</p> <p>○予算額については、財政力の弱い離島過疎等23町村が実施する沖縄振興特別推進交付金(市町村)の非適債事業の1/10以内としており、適正である。</p> <p>○費目・用途については額の確定時において確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	